



Let's talk together!

メンタル通信

発行：社会福祉法人長岡メンタルヘルス協会

〒940-2033 長岡市上除町甲105-22

TEL・FAX 0258-46-3116

(平成30年10月発行)



写真：コスモス一泊旅行 東京タワー

～目次～

P1. 創造工房コスモス 活動報告

P2. グループホーム上除寮

活動報告

創造工房コスモス



6月7日・8日 一泊旅行：東京方面

楽しかった。ホテルが楽しかった。

東京タワー・上野動物園楽しかった。

ホテルのなかがこわかった。

おいしいもの食べて、また東京に行きたい。

小熊 翼

6月21日・22日 一泊旅行：長野方面

1日目は松本城の前で武士やお姫様のコスプレをされた方と記念撮影をしました。他にも忍者や鎧兜のコスプレをされた方がいました。

松本城の内部は階段が急でしたがそれを払い除けるかのようにてっぺんからの背景が素敵でした。

2日目はお泊りさせていただいたすわ湖苑さんの周辺を散策しました。足湯があったので楽しんでできました。

仲見世通りも色んなお店があって散策するのが楽しかったです。

H.Y





グループホーム上除寮 9月8日創立記念日



長岡メンタルヘルス協会の出発点である共同生活住居「上除寮」が16年目を迎えた。その創立記念日を祝い、喜芳温泉で思い出を語りながら、温泉と食事を堪能してきた。この16年いろんなことがあった、波乱万丈だったな、外に出れなかったのが一泊旅行に行けるようになった、あっという間だった等々。全員が参加でき、のんびりとした時間を過ごせて良かった。

(9月25日喜芳温泉にて)

武石信一さんを偲んで

理事長 服部潤吉

本年8月1日、元創造工房コスモス施設長の武石信一さんが亡くなりました。長い間の闘病生活、本当にご苦労様でした。

武石さんは看護師として、精神医療センター（旧悠久荘）に永年勤務されました。何もわからない入りたてのワーカーであった私は、少し先輩であった武石さんから、精神医療について学び、職務は違っていました。が社会復帰活動と一緒に取り組んだ仲間でした。それまで私の中で、精神科病院は「収容所」のイメージがありましたが、実際の現場では、多くの患者さんたちは心優しく、普通の暮らしを望んでおり、看護師や他の職員も、熱心に開放化や社会復帰に取り組む人たちが多くいました。退院してアパート暮らしを訪問し支援しました。ところが何かのきっかけで病状が悪化したときは、一緒に困り何とか支えようとしたことを思い出します。

精神医療センター退職後は、地域の作業所で働き、その後コスモスに勤めたのです。スタート間もない時期であり、慣れない仕事でしたので、苦労があったと思います。のんびりと退職後を過ごす人生もあったはずですが、武石さんは障がいを持つ人たちの支援を続けることを選んだのです。

3年前の春頃から息が苦しいと言っていたのですがそれがALS(筋萎縮性側索硬化症)の始まりでした。病院にお見舞いに行った時、呼吸機能が弱っているなかで、「迷惑をかけるね」「コスモスを頼むね」と苦しそうにしてやっと話していたことを思い出します。

コスモスの仲間と一緒に加茂に魚釣りに連れて行ったこともありました。みんなの竿や仕掛けを用意してくださいました。とても楽しかった。もう一度いきたかった。

武石さんありがとうございました。安らかにお眠りください。

